

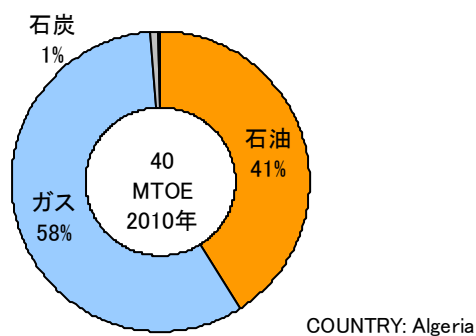
5-2 アルジェリア

1. サマリー

1. エネルギー事情

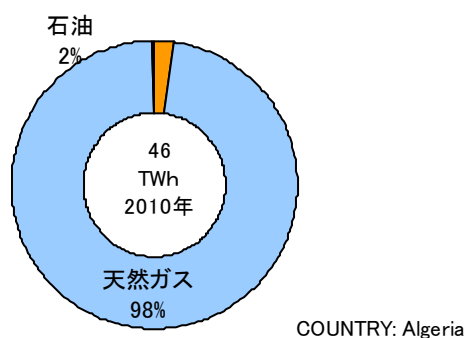
- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 40 百万 TOE (日本の 0.09 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 1.14 TOE (日本の 0.32 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 373%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 98.6 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 8.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 2.78 CO₂ 換算 ton (日本の 31.0%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 19.3 年、天然ガス 57.7 年

一次エネルギー供給構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

発電電力量構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー政策担当機関はエネルギー鉱業省 (Ministry of Energy and Mining) で、2010年5月に、ユーセフ・ユースフィ (Yousef Yousfi) が新大臣に任命された。規制については、Hydrocarbon Regulation Authority (ARH) および ALNAFT が行い、実際の開発に当たっては国営石油会社 Sonatrach が重要な役割を担う。
- 2002年2月に採択された電力・ガス供給法では、発電市場および小売供給市場の自由化実施が規定されている。この電力・ガス供給法に基づき、アルジェリア電力・ガス規制委員会 (CREG) が設置された。

(2) 基本政策

- アルジェリアのエネルギー政策目標は、石油・ガスの生産、輸出、埋蔵量の増大である。この目標達成のために、従来 Sonatrach が独占してきた石油産業の開放、市場経済の導入、石油産業の活性化が、エネルギー基本政策となっているが、近年は温暖化防止の意識の高まりを受け、再生可能エネルギー投資にも注目し始めている。また、シェールガス等の非在来型石油・ガスの開発にも積極的な動きをみせている。

(3) 最近の動向

- アルジェリアの原油生産能力は El Merk 油田の生産が開始され、原油 10 万 b/d、コンデンサート 3 万 b/d が追加されれば、生産量は 2011 年末の 130 万 b/d から 2012 年には 150 万 b/d を超える見通しである。
- Yousef Yousfi エネルギー鉱業相は 2012 年 8 月 12 日、発電能力を 2016 年までに 1200 万 kW 追加し、現状の倍の能力とするために 2 兆アルジェリアン・ディナール (AD、250 億ドル) を投資する野心的計画を発表した。
- 2012 年 9 月 17 日、閣僚会議は炭化水素法の修正を承認した。同会議のコミュニケによると、外国投資のインセンティブ強化を目的に財務上の条件が変更され、開発の遅れているフロンティア (特に沖合) をターゲットとし、複雑で高コストの開発技術の導入 (特にシェールガス開発) を対象とした。具体的には、対象となる鉱区の開発の難易度に応じた税が適用。税は、最低限のリターン保証のため、売上ではなく利益に課せられる。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 日揮は 2011 年 8 月 30 日、アルジェリアで原油処理プラントを受注したと発表した。受注金額は約 4 億ドル (約 300 億円)。日量 2 万 bbl 規模の処理設備について設計、調達、建設すべてを請け負う EPC 契約で、2014 年前半の納入を予定している。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	40	百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	1.14	TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.35	TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	373	%
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	98.6	百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	2.78	CO ₂ 換算 ton /人
(7)	エネルギー源別構成率	石炭	0.8 %
		石油	41.1 %
		ガス	57.8 %
		原子力	— %
		水力	0.0 %
		再生可能エネルギー等	0.2 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	-273	%
(9)	石油の輸入依存度	-372	%
(10)	輸入原油の中東依存度	—	%
(11)	原油輸入先	第1位	—
		第2位	—
		第3位	—

(出所) (1)～(4) および (7)～(9) は IEA, Energy Balances of non-OECD Countries, 2012 Edition

(5)～(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion 1971-2010, 2012 Edition

(10)～(11) は Blackwell, World Oil Trade: An Annual Analysis and Statistical Review of International Oil Movements